



「んまぐでぎだなあ」

正月を手作りのしめ飾りで迎えようと11月15日、本郷東小学校5年生の親子がしめ飾り作りに挑戦しました。参加者は、2本のワラ縄をない、円形にし、大きさ70センチほどの立派なしめ飾りを作りあげていました。

平成27年

1

No.647

春



大江町長 渡邊兵吾

新

年あけましておめでとうござ
います。

昨年は気象現象の激しい1年であ
りました。夏の大雨の被害、干ばつ
による水不足、道半ばではあります
が、乗り切れたように思います。町
民各位のご協働に感謝申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、
平成27年の新春を清々しくお迎えるの
こととお慶び申し上げます、あわせて旧
年中に賜りましたご指導とご厚情に
御礼申し上げます。今年も、旧年に
倍するご厚誼を賜りますようお願い
申し上げます。

昨年の10月に開催されたNHKラ

ジオ番組の「真打ち競演」は、会場
が笑いに包まれ大変盛会でありまし
た。ここ数年間で「のど自慢」、「朝
のラジオ体操」そして今回の「真打
ち競演」と、立て続けにNHKさん
からはお世話になりました。感謝申
し上げます。

今も、昔も、これからも、世情は
なかなか個々人の思うようには動か
ないもので「智に働けば角が立つ。
情に棹させば流される。意地を通せ
ば窮屈だ。とかく人の世は住みにく
い」先人の言葉には、重みがありま
す。しかも天気までも、なかなか思
うような「晴天」が続かない、それ



平成 27 年

迎

どころか傍若無人に暴れて手の施しようがないこともしばしばあります。解決、解消が難しいことが多い中で、笑いやユーモアは人生の救いでもあります。皆さんの笑い声の中には明日への力がありました。

念願の大江西川線は沢口貫見間の法線がほぼ固まり、貫見側から2つの橋梁の建設が始まりました。橋の同時着工は明るい早期完成を予想させています。また、三合田地区の拡幅工事完成や国道458号線交差点からの歩道工事も予定されることとなりました。ご尽力いただきました皆さまに御礼を申し上げます。道路は、経済、教育、交通、健康…全ての町民生活を支える大動脈であり、インフラ整備の最重要課題として、町民一丸となつて整備促進に努めなければいけないものです。国、山形県からのお力添えをいただきながら進めていきたいものであります。

昨年の夏に大江町の中学生がアメリカ合衆国モンタナ州ミズーラ市を訪問しました。若い時期に異文化に触れ、国際化の激しい時流を生きてゆく力の一助になったことは、嬉しいニュースでありました。初めての企画には、さまざまな課題が生じやすいと言われるなか、見事に成し遂

げた関係者の努力に感謝します。

新しい年の交流としては、今年の5月下旬に「全国山菜サミット大江大会」の開催を予定しています。大江町の本郷西部、七軒地区には山菜を業とされている方々もおり、このサミットは全国の先進地域から「山菜の明日」を学びとる絶好の機会と捉えています。また、4月には七軒西小学校を宿泊可能な施設として改修した「山里交流館」がオープンします。山里交流館がスタートすること、七軒地区の持つ自然や食文化、伝統行事など多くの魅力ある資源が発信できるとともに、都市部との交流の拠点としての機能も期待でき、山菜サミットの開催とともに当該施設を全国に発信するよう努めてまいります。

新しい中央公民館の建設も始まります。手狭だった図書室は規模を拡大し「図書館」に生まれ変わります。研修室、集会室の機能も使いやすい設計になっており、今後の町の教育・文化・産業などの拠点として有効に活用したいものです。

新しい年の町民各位のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

写真：「大山公園から望む」 撮影：庄司清信（藤田）

若者は新大陸で何を学んできたか

アメリカ



大江町ならではの海外派遣事業

派遣事業にはさまざまな目的がありますが、大江町が大事にしたことは、自分の力で物事に柔軟に対応できる能力の開拓と、心に残る経験の場の創出です。

そのため、渡航前は事前研修をしっかりとこなうとともに、渡航中も、同行した大人のスタッフは極力手を出さずに見守ることとしました。これにより、中学生たちは、例えば思うようにいかなくても、そこで経験したことはどれも思い出深いものとなります。さらに、帰国後も数回の事後研修をおこない、現地での体験を将来にどうつなげていくかを振り返るとともに、広く町民の皆さんに活動を知っ

てもらうため、報告会を開催しました。

実践的な事前研修

国内を旅行する場合と異なり、海外に渡航する場合は、入国審査や現地通貨でのお金のやり取りなど、特有の知識と準備が必要となります。また、今回訪問するモンタナ州の場合は、日本からの直行便はなく、国際線から国内線への乗り継ぎや日付変更線を超えることによる大幅な時差も経験します。それらに対応するため、渡航前に5回の事前研修をおこなっています。研修では、大江町国際理解



モンタナ州はアメリカ北部、カナダとの国境沿いに位置し、面積が全米第4位の大きな州です。

モンタナという名前はスペイン語で山、あるいは山の国を意味する「Montaña」が由来となっています。その名のとおり、山々に囲まれた自然豊かな州で、東部では牧畜業や小麦農業、石油・石炭の採掘が、西部では自然公園による観光業や林業、鉱石の採掘業などが盛んです。

国際化が進む社会・時代に対応した人材を育てていくため、大江町では昨年の夏に、はじめて中学生海外派遣事業をおこないました。派遣先は大江町とも交流のある、アメリカ合衆国のモンタナ州です。

参加した中学生たちはそれぞれ、初めて訪れた異国の地から異なる風土、文化などさまざまな刺激を受けて帰ってきました。今月は中学生海外派遣事業の内容と生徒たちがモンタナ州で何を感じ、学んできたかをお伝えします。



実践的な知識を学んだ事前研修

モンタナ州ミズーラ市に隣接する山の中腹から、夕陽をバックに記念撮影する中学生たち。ここからは、市内を一望できるほか、広大なアメリカの大地を肌で感じることができました。



"The only way to know what is out in the world,
is to go out and see for yourself!
It is not easy, but the rewards are great.
Please make the world your playground!"

Mathew Lenning

この世界にはなにがあるのか
知る方法は唯一、実際にきみ自身が見に行くことだ！
それは容易ではない、だけどその経験から得られるものは大きい
どうか、世界中がきみにとって活動の舞台となりますように

大江町国際理解教育推進員 マシュー・レイニング



中学生海外派遣事業のロゴマーク

EDVENTURE (educationとadventureから成る造語)と「大江」をあわせて、町の鳥であるヤマセミをRとEの部分に配置しています。L.E.A.P. (Oe Long-range Educational Adventure Program 2014の頭文字)は「跳躍」を意味し、この事業を通じて「跳躍」「飛翔」する生徒の育成を目指しています。

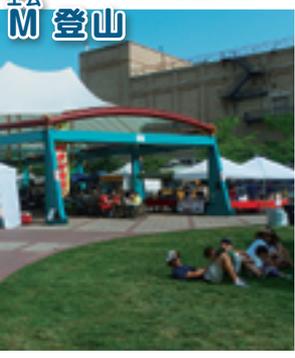
教育推進員が中心となり、入国審査時に必要となる英会話の練習や、時差に対応した体調管理、安全安心なお金やパスポートの取り扱い、荷造りの方法などを学びました。どれも、他の国に渡航する場合も役に立つものです。事業後のアンケートでも、入国審査とお金を使う場面を想定した実習は、他の国を訪れる場合にも応用できるといふ感想が中学生から寄せられています。

★イメーじと違っていた★

アメリカは新しい建物が多く、高層ビルが立ち並ぶといった大都市のイメーじを持ちますが、それはアメリカの一部にすぎず、中学生は自分が持っているイメーじと実際に見て感じたモンタナ州とのギャップが新鮮だったようです。モンタナ州には豊かな自然が広がり、古い建築物がたくさんありました。中学生からは「ヨーロッパに近いイメーじ」や「動物に近づいても逃げない。自然と人がうまく共存している」といった感想が出されたほか「自然豊かで大江町と雰囲気似ている」と話す生徒もいました。

★★★★★
edule
.A.P.
 ★★★★★

〜ク〜市内散策〜
 エム登山



◀アウト・トゥ・ラス
 ンは市内のカラ夏限
 パーク広場なわれる屋市
 定でおこなわれます。大な連
 台イベントが軒を
 内の飲食店中に軒を
 テントの提供して
 ね食事を提供して
 ます

具体的には、日本人の生活習慣や大江町の特徴、自分が

所属している部活や趣味など、自分自身や身の回りのものが考えられます。それらを把握しておくことの必要性を、中学生は強く感じていたようです。

7/29 大江町〜成田国際空港〜
 ポートランド国際空港〜
 ミズーラ国際空港〜
 モンタナ大学



▲スクールバスでモンタナ大学へ

現地の高校生と一緒に食材の買い出しにスーパーを訪れ

★★★★★
コミュニケーションの大切さ
 ★★★★★

渡航した先では私たちが外国人で、現地の人たちは日本のこと、私たちが住んでいる土地のことに興味を持ってくれます。そのような時、言語も大切ですが自分の特徴を理解し、伝えるべきものを持っていることが重要です。

大江町教育委員会では今後、外国語指導助手（ALT）の配置とグローバル・アフタースクール（P11掲載）、中学生海外派遣事業の3つを柱として進めていく予定です。

また、町民の皆さんからサポートも募集しています。英語が話せなくてもこうした取り組みに興味のある方は大江町教育委員会学校教育係 ☎（62）2270まで気軽にお問い合わせください。

開講式〜事前研修〜出発式

5/12 ~
 7/25



▲事前研修

買い物を想定した実習▶



ある生徒は「ふるさとを大切に思うことは万国共通、これは大江町民である自分も同じ気持ち」と話していました。

そして「英語が話せることも大切だが、相手に何を伝えたらよいか悩んだ」「コミュニケーションの大切さを感じた」と話していました。

また、言語も風習も全く異なる外国を訪れると、訪問国の良い点と同時に、日本や自身の良い点にも気づくことができ、その点からも「自分とはどういう存在なのか」改めて考えるきっかけにもなつたようです。

★★★★★
ふるさとを思う気持ち
 ★★★★★
気持ちは万国共通
 ★★★★★

た際、「日本のスーパーマーケットは大きいの?」「モンタナとどんなところが違うの?」と質問されました。高校生は、なるべく分かりやすい簡単な英語で話しかけていましたが、中学生は「言っていることは分かっても、どう答えていいか思いつかなかつた。日本のスーパーの特徴を考えたことがなかつた」と振り返っていました。



7/31

ジェムマウンテン



▲砂利の中からサファイアの原石を探し出す体験をしました



The show of L.E



8/1

モンタナ大学キャンパスツアー ～バーベキュー&買い出し



◀モンタナ大学の学生から校内を案内してもらいリフレッシュしました。また、夜のバーベキューの買い出しに地元のスーパーで買い物を体験しました

7/30

カラスパ マウンツ



8/2

スモークジャンパーセンター

スモークジャンパーとは、夏季に山岳地帯で発生する大規模な森林火災に対応する部隊のことです。モンタナ州になくてはならない存在であることを学びました▶



8/3
~4

ミズーラ国際空港～シアトル タコマ国際空港～成田国際 空港～大江町

ワシントン州シアトルを経由して帰国



8/11 ~
10/31

事後研修、報告会の準備

訪問中、特に印象に残ったことを挙げていき「友好と会話」、「食事」、「自然」の3つのグループに分かれて報告会での発表内容をまとめていきました▶



11/1

報告会&閉講式



モンタナを訪問して

異国の文化に触れることは何よりも大きい経験です／見るもの全てが日本と違い、感動しました／自分から話しかけることができ自信になると同時に、英語がもっと好きになりました／人と人との交流の大切さを学びました。ここで得たことは英語で学んだことよりも大事だと思います／アメリカのこと以外にも、自分に足りないものや日本の良い部分も知ることができ、いい経験になりました／自分の世界が広がりました。さらに広げていくために、これからもさまざまな文化や人々に触れていきたいです

(大江町中学生海外派遣事業第1期生の感想より)

藤田地区住宅団地

平成27年秋分譲予定!!

お求めやすい

1区画80坪
1坪5万円台

藤田地区住宅団地イメージパース
(現段階で計画されているイメージです)

人口減少に歯止めをかけるため、町では藤田地区に新しい住宅団地の造成を決定しました。

現在、町に定住促進効果をもたらしてきた住宅団地は全て完売している状態です。しかし、今後も人口減少は進むと予測されることから、さらなる定住促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。新たな住宅団地の場所について、交通の便や公共施設の立地状況など、条件に適した地区の中から検討を重ねた結果、藤田区内に整備することとしました。

藤田地区住宅団地の開発規模は約8千㎡で、平成27年4月以降に着工し、秋以降に宅地の分譲を開始する予定です。全部で21区画を整備し、若い世代でも購入しやすいように、1区画80坪程度の小規模な区画を用意します。坪単価は5万円台を見込んでいますが、今後、団地造成の費用などを精査して決定します。また、団地の購入特典についても決まり次第、皆さんにお知らせします。

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係

☎ (62)2118まで



CheckPoint

- ①平成27年春着工／秋以降に分譲開始
(開発面積8,128.3㎡)
- ②戸建住宅地／全21区画
(一区画あたり約77坪～119坪)
- ③坪単価／5万円台を予定
- ④団地内道路／幅員6m～7.5m
- ⑤交通アクセス／山交バス藤田停留所から徒歩1分、左沢駅から徒歩12分、道の駅から徒歩8分

輝いて
今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します。



作品名「ハッピーウェディング」

2014 富士フィルム 営業写真コンテスト



銅賞 菊地邦弘さん

国内最大規模の営業写真コンテストである「富士フィルム営業写真コンテスト」で菊地邦弘さん(菊地写真館・9区)が見事銅賞にかがやきました。

コンテストの受賞作品は、全国の写真館から寄せられた11,113点の中から選ばれ、特に金、銀、銅賞の上位入賞は最も難しいとされています。菊地さんはその内の銅賞を受賞しました。これは全国の写真館ベスト16に選ばれたことを意味します。

菊地さんは「富士フィルム営業写真コンテストに上位入賞し、帝国ホテルで表彰を受けることは、全国の写真館経営者にとって憧れです。この国内最高のコンテストに入賞することができ大変光栄に思います」と喜びを語ってくれました。

議会

town council

12月定例会

大江町議会第4回定例会が12月3日から5日までの会期で開かれました。今定例会では、各会計の補正予算や条例改正案などが審議され、原案どおり可決・承認されました。

冒頭に渡邊町長から行政報告などの説明がありましたので紹介します。

行政報告

職員採用試験について

平成27年度採用予定職員の募集をおこなったところ、初級および上級職に計20名の受験申し込みがありました。9月21日に第1次試験、10月26日に第2次試験を実施した結果、最終的に上級行政職1名、初級行政職1名を合格者とし、採用内定通知をおこなっております。

大江町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について

新たに人から人に伝染する能力を有したウイルスを病原体とするインフルエンザなどの感染に対して「大江町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定しました。

この計画は、感染拡大を可能な限り抑制し、町民の生命を保護するとともに、生活におよぼす影響を最小限に抑えることが目的です。計画では、発生状態を6段階に分け、状態に応じて情報収集、感染予防対策、予防接種などの対策を実施することとしています。

山里交流館の指定管理者の指定

旧七軒西小学校を簡易宿泊施設(大江町山里交流館)として活用するため、7月下旬から建築基準法および旅館業法の基準を満たすよう改修工事を実施し、10月末に完成しました。この施設は町の自然を生かし、都市と山村の交流などによる地域の活性化を図る拠点となるもので、指定管理者による管理となります。

今後は、地域資源や地域の人材を活用した取り組みが大きな要素になると考えられるため、施設の運営には当該地域住民で組織する「さわらび会(代表 今野壽子氏)」が指定されました。指定期間は平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間でです。

補正予算

平成26年度大江町一般会計の補正予算は、歳入歳出にそれぞれに1,080万円を追加し、総額51億4,010万円となりました。

11/29

柏陵荘の眺望風呂が 露天風呂にリニューアル

施設の老朽化に伴い、10月から改修工事をおこなっていた大江町老人福祉センター（柏陵荘）が、11月29日にリニューアルオープンしました。

柏陵荘は、以前実施した調査の結果から、老朽化が進み耐震性の低い建物と判断されていました。今回の工事では、老朽化が進んでいる部分の重点的な補強や眺望風呂および内風呂の改修などがおこなわれました。

眺望風呂は、木造の上屋を解体撤去し、新たに雨よけ用の屋根と周囲に目隠し用の板塀を設置し、露天風呂に改修しています。また、内風呂は、天井ボードや湯口、入口のドア、洗い場のタイルの改修などをおこなっています。

施設を運営する株式会社大江町産業振興公社では「上屋がなくなり、眺望風呂が開放的な露天風呂に生まれ変わりました。これからの時期、雪や夜空を見ながらたくさんの方に温まってほしいです」と利用人数の増加に期待を寄せていました。



▲▶新しかった眺望風呂。木製の雨除け用屋根や板塀が、木の温もりを演出します

※毎月1日と16日に男湯と女湯が入れ替わります



11/30

巨匠のオペラ、華麗に披露

山形オペラ協会と山形交響楽団によるオペラ「フィガロの結婚」が11月30日、東地区公民館で開催されました。

フィガロの結婚は、「魔笛」、「ドン・ジョヴァンニ」と並び、古典派の巨匠モーツァルトが作曲した三大オペラの一つとして知られ、劇中に流れる序曲は、モーツァルトの曲の中でも屈指の人気をほこります。公演では、山形オペラ協会による熱演や山形交響楽団による流麗かつ華麗な演奏が披露され、会場を訪れた人は、その見事な舞台に見入っていました。



11/19

ホームページで売り上げアップを

インターネットを活用して、町内商店の売り上げの向上を図ろうと11月19日「明日からホームページの売上を2倍にするセミナー」が、交流ステーションで開催されました。

セミナーでは、ホームページのコンサルティング会社ハンズバリュー代表の島田慶資さんを講師に迎え、島田さんよりこれまで実際に手がけた事例を交えながら、問い合わせや売り上げの向上につながるホームページのコツが紹介されました。

参加者は「すぐに実践できることが多かった。さっそく試したい」と意欲を見せていました。



▲11月17日はシンガポール出身の堀玉莉 (Candilin) さん
 ▲イタリア・ミラノ出身のマルタさん

11/17 放課後を国際的に

月曜日の放課後の時間を利用して、外国の文化や言葉、風習を学ぶグローバル・アフタースクールが、大江中学校で11月17日からはじまりました。

この教室では、毎回さまざまな国の外国人を講師に招き、その国の紹介や会話などを体験します。

12月1日は、イタリア・ミラノ出身で、東北芸術工科大学の留学生マルタさんを招き開催されました。教室ではミラノをはじめイタリア各地の有名な建物や文化、料理などのほか、現地で高い人気を誇る日本のアニメも紹介されました。参加した生徒から「好きな日本のアニメは？」と質問が出されると、マルタさんは「千と千尋の神隠しです」と笑顔で答えていました。

この教室は3月9日まで8回にわたり開催されます。講師にはアメリカやイギリス、シンガポール、ネパール出身の方を予定していますので、対象となる中学1、2年生の皆さんはぜひご参加ください。



12/13 今年は雑味が少なくシャープな味

地酒大江錦初しぼりを味わう味祭の宴が、12月13日に東地区公民館で開催されました。

町の食材をふんだんに使った郷土料理が出されたほか、酒造りの紹介VTRや山形舞妓の優雅な舞も披露され、参加者は大江錦とともに心ゆくまで堪能しました。酒造元の千代寿虎屋酒造株式会社の大沼代表取締役は「今年は酒米が充実しており、精米をしても割れず、一粒一粒が最後まで発酵しています。雑味が少なくシャープな味がする、大変きれいなお酒ができました」と出来具合を高く評価しました。



12/7 ドイツ風のクリスマスで

各国の文化を学ぶ国際理解教室～アドベント・クランツ作りが12月7日に、東地区公民館で開催されました。アドベント・クランツとは、ドイツで作られるクリスマスの装飾で、リースに4本のロウソクを立てたものです。ドイツには12月から始まるクリスマスの準備期間の週末に、1本ずつロウソクに火を灯しお祝いする文化があるそうです。参加者は、円形の土台にヒイラギの葉やヒメリンゴなどを楽しそうに飾りつけました。





リレー随想／ 《第91回》

モンタナ紀行スタッフ編

一年前、大江町国際理解教育推進員のサポーターを募集していると教育委員会から声をかけられた。以前からアメリカモンタナ大学の学生のホストファミリーに登録をしていたことも関係あったようだ。私のモンタナ紀行はここから始まった。

昨年おこなわれた中学生海外派遣事業は、推進員も担当した事業で、中学生をモンタナへ派遣するという大きな事業だ。計画案作りが週一、多いときで数回、仕事帰りの夕方から始まった。オリエンテーションから事前研修、渡米中の日程案、事後研修に報告発表会まで、初の事業対応に気の遠くなる作業が続いた。四

月、私の勤務先が変わり、PTA活動、町内会での役割も回ってきた。当然、母として我が家にいる時間は無くなっていったが、家族は協力的だった。

召集された会議に出席して、事業の企画・検討だけに留めておくつもりが、引率するスタッフの依頼も受けたことで家族会議。家庭の主婦が一週間も家を空けるなど無理がある。ほろ酔い気分の夫に相談した。「行つていいよ。」

寛大である♪あとは職場の許可：こちら上司の寛大な計らいで承諾を得ることができた。

一人人が一つの事業に関わる大変さをひしひしと感じた。その傍ら、自分のいる環境がとて恵まれていること、周りの人の支えがあつて生かされていることを改めて感じ、ありがたく思えた。

モンタナへ行くメンバーが決まり研修が始まった。中学生には「心と体と荷物の準備は念入りすること」を7回の研修を通して事細かに伝えた。出発日早朝、中央公民館に集合したメンバーは家族に見送られバスに乗車。私は自分の娘たちを見ていると離れる不安で胸が苦しくなり泣きそうだった。ただ、中学生の

保護者の皆さんも同じ気持ちで手を振っている、そう思うと責任の重大さを感じた。

渡米して丸2日、初めて体験した時差のせい、みんなは元気をなくしていった。乗り物に揺られては睡魔に襲われる、会話が続きず現地スタッフとの距離も遠ざかる。「何か良い方法はないものか？自分からもつと前に出て今この時間を楽しんで欲しい。」その想いから滞在中でも打ち合わせの回数を増やし改善に努めた。大好きなビールを一滴も飲まず…。そんな余裕は無かった。それはともかく、数多くの綿密な打ち合わせと中学生のモチベーションアップの甲斐もあり全日程を無事遂行することができた。

今回の研修を通して、参加した11名が自分の将来を語るようになり、そして家族やスタッフへの感謝の言葉を贈ってくれた時、事業に関わって本当に良かったと思えた。

同行したみんなには、これからも郷土大江町を改めて誇りに思い、人と人のつながりを大切にしながら、次の一歩を踏み出して欲しいと思う。そう願いながら私のモンタナ紀行を綴りたい。

(9区 鴨田 文)

- 9区 庄司作十郎 (93)
- 小見 松田 定實 (83)
- 9区 白田まつよ (93)
- 原 阿部 正二 (71)
- 貫見 松田 晋一 (81)
- 9区 片倉樹葉子 (88)
- 市の沢 大泉もとゑ (90)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
小漆川	岩佐 遥風	女	洋一・佳代

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
富沢	五十嵐正治	(77)
山崎	小松政太郎	(99)
柳川	平 佐藤 和雄	(81)
伏熊	稲村はつえ	(85)
若原	庄司ノブヨ	(82)
藤田	駒林 慶民	(79)
9区	清野 竹代	(100)



戸籍の まど

11月21日～12月15日受付分



昨年、広報おおえを編集していて印象に残っているものの一つに青芋の特集があります。青芋という特産品から町の歴史や風土を深く知ることができました。歴史といえば、父からよく「広報は、町の歴史を後世に伝える重要な資料だ。毎号しっかりと編集するように」といわれます。最初の頃は実感がありませんでしたが、この頃感じるものがあります。自分の広報が町の歴史に恥じないものとなるよう精進します。今年もよろしくお願ひします。(山家雄志)